

NSハイパーツ

木造住宅リフォーム用

鋼板製耐震デバイスを開発

日本製鉄のスチールハウス工法（薄板軽量形鋼造）「NSスーパーフレーム工法」の部材開発・製造・構造設計を担当するNSハイパーツ（本社・岐阜県可児市、社長・橋本伸一郎氏）は、木造住宅の耐震改修用に鋼板製耐震デバイスを開発、このほど販売開始した。

木造住宅の耐震改修する粘り強さを付与し、時に柱間に取り付ける。商品名は「NS木」ことで、構造合板張り造耐震デバイス。材料の鋼板（厚さ1倍率2・5）を確保で・2ミ）は、日本製鉄き、木造柱の地震に對のスーパーダイヤマを使

用。日鉄が自動車部品の成型用に開発した最新プレス加工技術（N



柱間に施工中の耐震デバイス

得て、名古屋工大・小野徹郎名誉教授、佐藤篤司准教授と共同開発した。鋼材の特性と鋼板に開けたパーリング孔との独特な形状を生

かし、大地震で大きく変形しても柱の損傷が起きないのが特長。販売は「1府県1販売店」の方式。販売店として矢橋林業（岐阜、愛知、三重、静岡、長野、富山、石川、滋賀、大阪）、阿比野建設（兵庫）、紀洋（和歌山）の3社と契約、11府県で販売開始した。3月に愛知建築地震災害軽減システム研究協議会の木造耐震改修工法評価を取得。富山、長野、静岡以西の23府県で耐震不適格住宅の耐震改修補助金利用が可能になっている。来年には補助金利用が可能な全府県で販売契約を締結していく。取り付けは、天井や床をはがさず簡便施工できるため、居住者が住みながら施工できる。製品重量が1枚5キタほどで施工者が一人で取り付けでき、

「1日1壁」の施工が格は2枚セットで約8できることから改修コ万円。製品シリーズはストの大幅削減も可3寸柱用と3・5寸用能。1壁当たり施工価の2種類がある。

SafeFORM-LT)を用いて生産する。2016年度に国交省の「住宅・建築物高度化事業」の補助金を